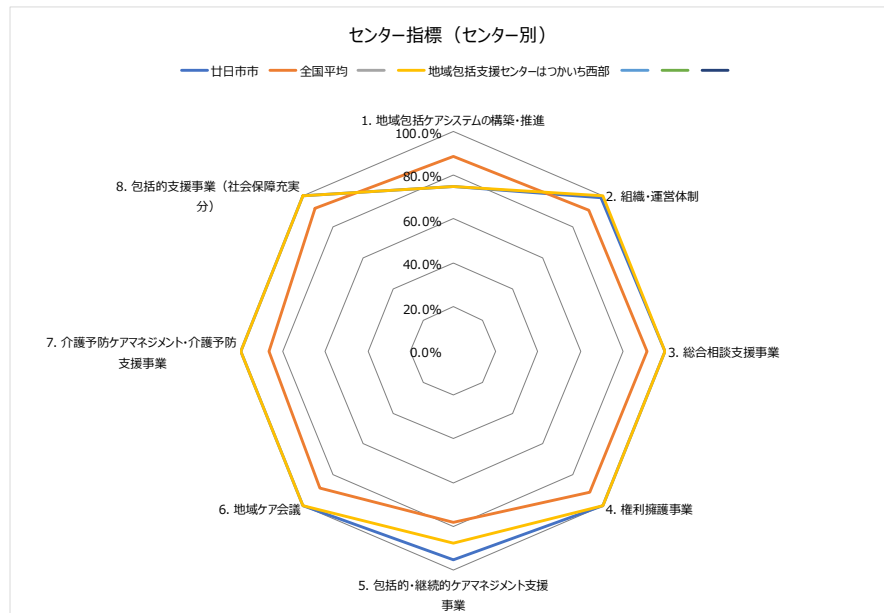


令和8年3月9日

図：地域包括支援センターはつかいち西部の取組状況（令和6年度）



1. センター：自センターの課題（機能強化すべき評価分野や活動目標）は何ですか？

- ①坂が多い地域では、足腰に不安がある人は買い物や通いの場などに一人で外出することが難しい。
- ②特にマンション群では近所とのつながりも持ちづらく孤立化しやすい。

2. センター：自センターの課題はどのような背景から生じているのでしょうか？

- ①公共交通機関の便の減少、免許返納による外出手段や機会の減少等の環境的要因と高齢化が進んだ地域では下肢筋力低下による移動の困難さ等の身体的要因がみられる。
- ②特にマンションは、周囲が変化に気づきにくく、本人の受け入れがないと支援に入りにくい環境がみられる。個人情報保護の観点から気軽に声を掛け合う風土が薄れつつある。

3. センター：課題の解決に向けて活用できる自センターの強みは何でしょうか？

- 関係機関・関係部署（地域包括ケア推進課、社会福祉協議会SC、高齢者ケアセンター、光の園、通いの場の世話人、商業施設、居宅介護支援事業、福祉用具事業所）との連携。（会議の定期開催やイベントへの協力など）

4. 課題の解決に向けた目標とそれを達成するための取組を考えましょう。

- ①訪問型移動支援サービスの検討のため、事業所等と協力し、地域住民へのニーズ調査や講座の実施、住民同の話合いの場を開催する。
- ②マンション入居の高齢者が多く利用する商業施設で相談会を開催する。マンション住民への包括の周知の継続や、サロン世話人や理事会役員等を通して現状把握をする。